

**【各試合の結果・詳細】**

第1試合  
B組

箕島ホッケークラブ 4  $\begin{pmatrix} 1 & -1 \\ 3 & -2 \end{pmatrix}$  3 東海学院大学

勝点 3  
1 勝 0 分 0 敗

勝点 0  
0 勝 0 分 1 敗

<得点>

箕島 : 33分#7江川、43分#12西川、45分#9北村、56分#12西川  
東海学院大 : 18分#9内田、39分#8山部、49分#5鈴木

<戦評>

箕島ホッケークラブのセンターパスにより試合が開始される。東海学院大がペースを握り始め、10分にシュートを放つが得点に結びつかない。激しい攻防が続く中、18分東海学院大学がパスでサークル内に持ち込むと、#9内田がこぼれ球を押し込み先制点を取る。一方、箕島クラブはサークル内へロングパスを通すと相手のミスから26分PCのチャンスを取るも、得点には結びつかない。しかし、33分に#7江川の強烈なリバースシュートが決まり1-1とし、前半を折り返す。  
後半、試合が動いたのは39分、東海学院大学がサークルの打ち込みから#8山部がリバウンドを押し込み2-1とする。一方、箕島ホッケークラブは43分、PCを得ると、#12西川が落ち着いてフリックを決め、同点に追いつく。また、45分にも#5佐々木の正確なパスから#9北村がヒットシュートで決め2-3と逆転する。しかし、49分に東海学院大学#5鈴木がリバウンドを押し込み同点に追いつく。両者譲らない攻防の中、56分箕島ホッケークラブの#12西川がPCからフリックを決め、4-3とする。このまま試合が終了し、箕島ホッケークラブが勝利する。

テクニカルオフィサー	中村康夫	
ジャッジ	大野隆司	北島 学
アンパイア	戸塚洋介	成田健一
S. アンパイア	平尾 豊	宮川敏充

第2試合  
A組

東京農業大学 1  $\begin{pmatrix} 0 & -1 \\ 1 & -2 \end{pmatrix}$  3 Selrio島根

勝点 0  
0 勝 0 分 1 敗

勝点 3  
1 勝 0 分 0 敗

<得点>

東農大 : 60分#1大田  
S島根 : 9分#12嵐谷、53分#18宮崎、57分#島

<戦評>

東農大のセンターパスにより試合が開始される。一進一退の攻防が続く中、東農大はパスを繋ぎ攻め込むものの、Selrio島根の厚いDF陣に阻まれる。一方、Selrio島根はサークルへの打ち込みでチャンスを作ると、9分#12嵐谷が押し込み先制点を得る。その後も、Selrio島根が試合の流れを作り攻め込むが、東農大#13GK氏家のファインセーブにより追加点を許さない。そのまま前半戦が終了し1-0で折り返す。  
後半も激しい攻防が続く中、46分Selrio島根はカウンターからシュートを放つが、得点に繋げることができない。試合が動いたのは53分、Selrio島根が打ち込みから#18宮崎がタッチシュートで追加点を得る。続く57分Selrio島根はパスを繋ぎ東農大DF陣を崩すと、#9島がシュートを決め東農大を3-0と突き放す。負けじと東農大も60分PC得ると、#1大田が右隅に決め3-1とする。追いつきたい東農大は、その後もPCを得るも得点に繋ぐことができず、そのまま試合は終了し、3-1でSelrio島根が勝利する。

テクニカルオフィサー	名取英生	
ジャッジ	鈴木靖弘	清水陽子
アンパイア	富山喜正	児玉茂樹
S. アンパイア	千野雅人	近藤聡史

第3試合  
B組

立命館大学 3  $\begin{pmatrix} 0 & - & 0 \\ 3 & - & 1 \end{pmatrix}$  1 RIVERSOUL岐阜

勝点 3  
1 勝 0 分 0 敗

勝点 0  
0 勝 0 分 1 敗

<得点>

立命館大 : 55分#5伊藤、60分#28田中、67分#5伊藤

RS岐阜 : 36分#15辻

<戦評>

秋晴れの中、RIVERSOUL岐阜のセンターパスにより試合が開始される。激しい攻防が続く中、立命館大学はパスを繋ぎ攻め込むがRIVERSOUL岐阜の堅いDF陣に阻まれ得点することができない。一方、RIVERSOUL岐阜は11分PCを獲得するが、チャンスをものにすることができない。一進一退の試合続く中、両者ともに得点の無いまま前半を折り返す。

後半開始早々36分、RIVERSOUL岐阜はサークル内への打ち込みを#15辻がタッチで決め先制する。追いつきたい立命館大学は激しい攻防の中、RIVERSOUL岐阜の陣地に攻め込み、55分PCから#5伊藤が豪快なフリックで右上に決め1-1と追いつく。勢いを増した立命館大学は、60分に#28田中が左サイドから巧みなドリブルで相手DFを交わし、追加点を決め逆転する。続く67分にもPCのチャンスを得た立命館大学は#5伊藤が落ち着いて決め、3-1とRIVERSOUL岐阜を突き放す。そのまま試合は終了し、3-1で立命館大学が勝利する。

テクニカルオフィサー	中村康夫	
ジャッジ	大野隆司	北島 学
アンパイア	宮川敏充	渡邊道彦
S. アンパイア	平尾 豊	戸塚洋介

第4試合  
A組

名古屋フラーテル壘球隊 4  $\begin{pmatrix} 3 & - & 1 \\ 1 & - & 2 \end{pmatrix}$  3 天理大学

勝点 3  
1 勝 0 分 0 敗

勝点 0  
0 勝 0 分 1 敗

<得点>

名古屋F : 15分#17橘、21分#20川上、24分#18福代、52分#7猿養

天理大 : 19分#6三谷、32分#2大野、55分#11小澤

<戦評>

天理大学のセンターパスにより試合が開始される。激しい攻防の中、両チームとも果敢に攻め込むが得点に結びつけることができない。試合が動いたのは、15分名古屋フラーテルがPCを獲得すると、#17橘が確実に決め先制する。対する天理大学は19分混戦からドリブル突破し、#6三谷がGKとの1対1を確実に決め同点に追いつく。返したい名古屋フラーテルは21分、打ち込みから#20川上が押し込み2-1とする。またも24分、名古屋フラーテルの打ち込みを#18福代が確実に決め3-1で前半を折り返す。

後半開始42分、天理大学のPCは相手の反則によりPSとなる。これを#2大野が落ち着いて決め、3-2とする。一方、名古屋フラーテルは52分#7猿養がタッチシュートで決め4-2と突き放す。その後、55分天理大学はパスで相手DF陣を崩し、#11小澤が豪快なヒットシュートで決め1点差に追いつく。追いつきたい天理大学は猛攻を仕掛けるが、得点を得ることができず4-3で名古屋フラーテルが勝利する。

テクニカルオフィサー	名取英生	
ジャッジ	鈴木靖弘	清水陽子
アンパイア	近藤聡史	木下英貴
S. アンパイア	我妻順子	富山喜正